



社会福祉法人 ひまわり 広報部発行 杵築市 ひまわり 検索
0978-52-2233 0978-66-5500 http://www.wel-himawari.ne

社会福祉法人ひまわり理念
 ・利用者の尊厳を守り、敬愛の精神で接すること
 ・地域福祉の拠点となり、開かれた施設として地域に貢献すること

基本方針
 ・利用者があるがまの姿を受け入れ、見守り、優しい安らぎのある施設にします
 ・利用者の意思を尊重し、利用者の立場で考え、安全で平等な援助に努めます
 ・地域の関係機関と連携し、地域福祉の推進と向上を目指します
 ・社会で通用する接遇を修得し、利用者明るく気持ちの良い態度で接します
 ・日々向上心を持って、専門機能の研鑽に努めます

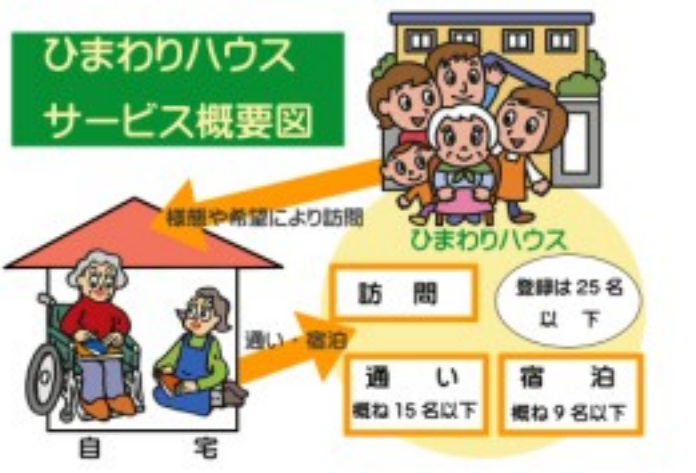
平成26年4月1日小規模多機能型居宅介護「ひまわりハウス」オープン



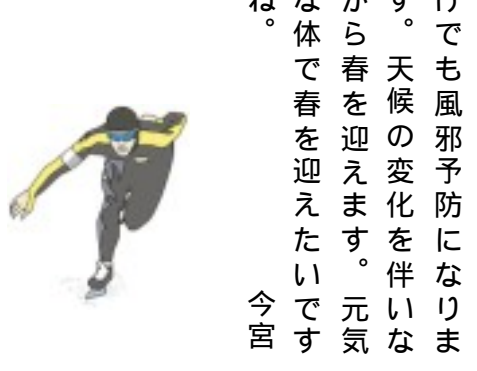
平成26年4月1日に小規模多機能型居宅介護施設「ひまわりハウス」がオープンします。小規模多機能型居宅介護施設とは、利用者が可能な限り自立した日常生活を送ることができ、利用者の選択に応じて、短期間の「

「宿泊」や利用者の自宅への「訪問」を組合せ、家庭的な環境と地域住民との交流の下で日常生活上の支援や機能訓練を行います。

お問い合わせ先
0978665500
(佐々木)



節分行事
 2月3日の節分の日に今年も瑞雲荘にこん棒を振り回しながら赤鬼青鬼がやってきました。利用者様方は「鬼は外！福は内！」と懸命に豆入りのお手玉を鬼達に投げつけました。するとどうでしょう、あんなに威勢のよかったです。鬼は外！福は内！と懸命に豆入りのお手玉を鬼達に投げつけました。するとどうでしょう、あんなに威勢のよかったです。



訪問看護通信
 きつき訪問看護ステーション
 ソチオリンピックでの日本勢の健闘で大変盛り上がりつつありますね！3月7日からはパラリンピックが行なわれます。引き続き応援したいと思います。

さて1月末から2月初旬にかけての5日間程は春になったのではと感じるくらい暖かい日がありましたが、2月の中旬よりぐつと寒くなり雪が降ることもありました。暖かくなったからといって、衣類の選択や暖房の温度設定などが難しい季節です。薄着になり、風邪を引くのも困りますが、着すぎて汗をかき風邪を引く場合もあります。乾燥した部屋に終始居るのも良くありません。せめて、意識的に水分を摂り常に喉に潤いを与えましょう。それでも風邪予防になりませんが、天候の変化を伴いながら春を迎えます。元気に体で春を迎えたいですね。

今宮

編集後記
 いよいよ4月1日に小規模多機能型居宅介護施設「ひまわりハウス」がオープンします。現在建設中ですが、その完成イメージ画を見ていると昨年未にお亡くなりになった大滝詠一さんの1981年作の「ロングバケーション」というアルバムレコードジャケットを思い出して、早速アレンジしてみたのが今号のトップページの画像です。如何でしょうか？さて、皆様お気づきだとは思いますが、今号の編集後記は枠が大きくなっており、何を書くか非常に悩んでおり、来シーズンの広島カープの戦力分析についても書きたいし、来シーズンのペナントレース予想もしたいし、赤ヘル黄金期の思い出話も書きたいし、とまあカーブネタには尽きないのですが、こはぐつと堪えて真面目な話を書こうと思います。前置きが長くなりましたが、私の実家(母方)は浄土宗のお寺という事もあり私も僧籍を持っております。仏教と福祉は関連深いもので、古くは聖徳太子の悲田院、行基の布施屋から現代においても福祉事業を行っているお寺はたくさん存在しております。さて仏教において人生は「苦」であるといわれ、その「苦」には四苦八苦とあるように8つの「苦」があるとされています。まず四苦八苦のうち、四苦とは「生」「老」「病」「死」で、残りの4つが「愛別離苦」「怨憎会苦」「求不得苦」「五蘊盛苦」の4つで以上の8つを「苦」として扱います。若い頃にはこういった「苦」に対して思い悩むほどの猶予があると感じますが、高齢になればなるほどこれらの「苦」に直面してしまうのではないかと私が利用者様の方と関わっていくにつれ感じております。特に四苦の「生」「老」「病」「死」については常に重くのしかかっているように感じます。老いること、それがどれだけ刹那的な事か。病む事、それがどんなにつらいことか。死ぬ事、それがどんなに恐ろしい事か。それらを解決することは不可能であっても、寄り添い、支えることが我々医療福祉従事者の使命であり、それらの苦を抱えたまま生きること、そしてそれが素晴らしいと感じられる事が我々の目標であると思っております。特に私の勤務する瑞雲荘では年間10数名の利用者様を看取っております。利用者様にとって最期を瑞雲荘で迎えて幸せだったと感じ、ご家族にも瑞雲荘での看取りが最良の選択であったと感じていただけるように、今後も努めてまいります。

毎月10日発行 編集責任者 社会福祉法人ひまわり 高尾

きつぎの里デイサービス

きつぎの里デイサービスでは利用者様の自立支援の為の様々な療法を行っております。まずは理学療法として毎週月曜日、水曜日は衛藤外科理学療法士の古賀先生、土曜日は新別府病院から理学療法士の河野先生、武内先生が来てくださいます。

「先生はまだまだかえ？」、「今日は訓練お願いできるかな？」等先生との機能訓練を楽しみに行っている利用者様も多いようです。また、看護師による機能訓練も並行して行っております。



続いて、利用者様方に変人気が高い、電気機器を使用した療法を紹介いたします。まずは手技療法のひとつとして使用する。メドマー（下肢のマッサージ機）は、柔らかい空気圧によりマッサージを行い、局部的な痛みや電氣的な刺激がなく、足先から太ももまでまんべんなく揉みあげてくれます。この治療器は空気を加圧・除圧を繰り返すことにより、リンパ液と静脈血の還流を促進します。

返すことにより、リンパ液と静脈血の還流を促進します。そして、全身をマッサージするウォーターベッドも人気が高いです。これは水圧で全身をマッサージするので、血行促進などの一般的なマッサージ効果に加えて水の上で横になりラックス効果も得られます。ウォーターベッドにかかられた利用者様からは「腰痛も楽になった」「前よりも調子が良くなった」など嬉しい声が聞かれます。



2月14日と言えばバレンタインデーです。そんな嬉しい日にわかば会の皆様も回も新曲を用意して来てくださいました。秋川雅史さんの「千の風になって」や北島三郎さんの「川」等、色々な歌を披露してくださいました。また、ダンスでは「タキオのソーラン節」や「バリバリの浜辺」等、かっこいい踊りから美しくしなやかな踊りまで様々で利用者様からは「おおいきれいじゃなく」「あん人は歌がものすごく上手じゃなく」と楽しんでいただけています。様子でした。また、最後にはわかば会の皆様から利用者様全員にチョコレートのプレゼントもあり、利用者様の皆様には楽しい時間を過ごしていただけたのではないのでしょうか？



三楽園デイサービス

鍋パーティー

今年の冬は例年になく大雪が降り、寒い日が続いております。三楽園では今年も利用者様に鍋を囲んで身体の芯から温まって頂こうと鍋パーティーを行いました。

白菜や春菊等の豊富な野菜に豆腐や団子入りの鍋を用意し、ビールやジュースもお出ししました。「みんなで食べる鍋は美味しいな」「温まるな」と、とても好評で、普段少食の方も何杯もおかわりされたりと、喜んで召し上がっていました。まだまだ寒い日が続きますが、皆様風邪などひかずに元気に過ごしましょう！



豆まき

2月3日の節分の日に豆まきを行いました。今年は年男、年女の職員が福の神と鬼に扮し登場しました。

初めに青鬼が現れると、皆様「鬼は外！」の掛け声と同時に力いっぱい豆を投げられ、元気だった青鬼も最後には泣き出し降参してしまいました。その後、にこやかな福の神が現れ、皆様に福を授けてくれました。笑い声も多く、大変にぎやかな節分になりました。



三楽園利用者様作品



絵画教室「プリムラ」木下東子様作品



ペーパークラフト（馬の置物）



小物入れ（牛乳パック）

瑞雲荘

初詣

1月17日に瑞雲荘利用者様方は初詣に杵築市宮司にある若宮八幡宮に伺いました。皆様、熱心に手を合わせ、お参りされていきました。利用者の皆様今年一年間のご多幸をお祈りしております。



おむつ研修会

2月10日におむつの研修会を開催しました。利用者様方へはおむつでなくトイレでの排泄を優先してあります。おむつが、仕方なくおむつになつた際にも安心して排泄が行え、スキントラブル無く過ごせるように職員一同研鑽を図っております。

